

日本門脈圧亢進症学会雑誌

Vol. 27, No. 1 2021

目 次

特別寄稿

第27回日本門脈圧亢進症学会総会を終えて

於保 和彦 1

理事長からのメッセージ

國分 茂博 4

Editorial

門脈圧亢進症に対する手術療法の継承：門脈道を極める

吉田 寛 8

総 説

リンパ管新生：その機序と肝臓病治療への可能性

近藤礼一郎，岩切 泰子 12

食道・胃静脈瘤の内視鏡治療：38年間の軌跡

小原 勝敏 16

解 説

BAVENO コンセンサスワークショップの主要な論点と問題点，および我が国との相違点：
参加にあたっての参考として

村島 直哉 25

原 著

Budd-Chiari 症候群に対する直達手術 71 例の検討

稲福 齊，國吉 幸男 28

慢性肝疾患におけるサルコペニアとたんぱく質摂取量に関する検討

菊池奈穂子，魚嶋 晴紀，日高 央 34

シャント型肝性脳症に対するバルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術における効果予測の検討

松井 哲平，永井 英成，天沼 誠，吉峰 尚幸，小林康次郎，
荻野 悠，向津 隆規，松清 靖，和久井紀貴，
中野 茂，五十嵐良典 41

食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化結紮法による単独治療施行症例の検討

永島 一憲，入澤 篤志，高木 優花，小島原駿介，久野木康人，
福士 耕，阿部圭一朗，金森 瑛，井澤 直哉，山部 茜子，
土田 幸平，飯島 誠，菅谷 仁 50

臨床研究

EIS 術前評価における医療用潤滑ゼリー充填による EUS の有用性

木下 幾晴, 木下真樹子 58

症例報告

肝性脳症に対する PARTO (plug-assisted retrograde transvenous obliteration) の初期経験

矢田 晋作, 大内 泰文, 永原 天和, 星野 由樹 64

バルーン下逆行性経静脈的塞栓術で血栓化せず部分的脾動脈塞栓術追加にて
胃腎短絡路の閉塞が得られた 1 例

木村 修 71

コーヒーブレイク

胃静脈瘤に対する留置スネアを用いた内視鏡的結紮術の開発 (1992 年) に携わらせて頂いて:

一期一会, 医師になって 3 年目の経験

寺井 崇二 78

総会・研究会 司会総括

第 27 回 日本門脈圧亢進症学会総会 司会総括

合同シンポジウム 1: 肝性脳症〜わが国における現状と課題〜 持田 智・日高 央 80

合同シンポジウム 2: 肝硬変における脾機能制御の功罪—免疫機能, 重症感染症を中心に—
緒方 俊郎・竹村 信行 81

シンポジウム 2: 肝線維化と門脈圧亢進症 基礎, 臨床の Up to Date 古市 好宏・河田 則文 82

パネルディスカッション 1: ウイルス性肝炎 SVR 後に門脈圧亢進症は改善するか
吉治 仁志・持田 智 83

パネルディスカッション 3: 門脈-大循環短絡路閉鎖の長期予後 今井 幸紀・橋爪 誠 84

ワークショップ 1: 門脈圧亢進症性肺病変 (肺高血圧症, 肝肺症候群など)
谷合 信彦・高木章乃夫 85

ワークショップ 2: 肝性脳症の集学的アプローチ 松岡 俊一・菅原 通子 86

ワークショップ 3: 肝移植と門脈圧亢進症—現状と問題点— 江口 晋・金子 順一 87

ワークショップ 4: 門脈血栓症の診断と治療戦略 日高 央・赤星朋比古 88

ワークショップ 5: 門脈圧亢進症に伴う腹水, 胸水の病態と治療 渡辺 勲史・坂井田 功 89

ビデオワークショップ 1: 外科領域—私はこうしている— 吉田 寛・川中 博文 90

ビデオワークショップ 2: IVR 領域—私はこうしている— 山上 卓士・和栗 暢生 91

ビデオワークショップ 3: 内視鏡領域 (組織接着剤) —私はこうしている—
吉田 智治・引地 拓人 91

プレナリーセッション: ビデオ・オリンピック 2020 各支部対抗戦 中村 真一・荒木 寛司 93

初期研修医・医学生セッション 林 星舟・太田 正之 94

地区活動報告 95

定 款 98

投稿・執筆規定 101

日本門脈圧亢進症学会の利益相反に関する指針 105

日本門脈圧亢進症学会技術認定制度規則 111

日本門脈圧亢進症学会技術認定応募の手引き 115

日本門脈圧亢進症学会技術認定更新の手引き 132

日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設制度規則 147

日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設・暫定教育施設 申請の手引き 148

編集後記 (荒木 拓次) 158